

温泉に年を越す 帯 広 中野 知弘  
 ゆく年を二人で送る チェックイン温泉ホテル  
 の蕎麦予約なり  
 元日の朝あけやらぬ温泉場 一番乗りには湯氣  
 載りて行く  
 ひと息に湯口に向いて腕かけば零る音は仕  
 合せ歌ふや  
 砂時計をまず逆さまに廻したりサウナの熱氣  
 増す奥処  
 限りある一期三年と生きむかな もの思ふ身  
 に滴る汗は

フェニックスの花 札 幌 魚住あらた  
 地下鉄の車内の風鈴音ひそか万葉想い簾の動  
 き  
 この年もブーゲンビリア咲かせきて放つ息づ  
 きとみに寔けし  
 食欲は今宵もみだし美しき天地ありてフェニ  
 ックスの花  
 寂寥の凝りの思いわれになし今宵も盃をフェ  
 ニックスの花  
 またも来し瑞巖寺の庭臥龍の梅は香に育ちる  
 し

北海道医報人會詠草

一周忌(天原信友君) 札 幌 小国 孝徳  
 杖に身を支へてマイクに語りをり同期の友の  
 うつし糸の前  
 点取り虫的秀才には非ざりき剣道六段司法解  
 剖三百  
 上層部の覚え良かりし君遂に軍艦に勤務する  
 ことはなかりき  
 軍医として町医としての誠実な使命感こそ君  
 の心なりけむ  
 幾年か幾十年か後には居なくなる人ら集ひて  
 故人を偲ぶ



医師会創立50周年 美 唄 吉村 誠治

札幌の三人を呼びしコンサート美唄医師会の  
 半世紀祝ふ  
 オーボエとピアノに合はせ歌ふソプラノアル  
 テピアノの夜は更け行く  
 小学校の校舎なりしアルテピアノ満ちた  
 る樂に我は浸りぬ  
 迫りくる医療改革いかなりとも地域医療を守  
 り行きたし  
 タイトルを「新しき出発」とまず決めて記念  
 誌づくりに気持高まる

距離おきて 札 幌 山口 康德

距離おきて遠くゆ視れば七竈雪覆ひたる柿  
 の実に似て  
 童心のいたみ知らぬや愚か者表現自由に藉口  
 りし暴論  
 トララックに挟まれし猫傷もなく救出されしは  
 まさにミラクル(猫の名)  
 現代のメカ世に充つも人起たず太古のごとき  
 豪雪に吞まるは  
 いにしへの人戒めたるを忘却し事ありてのち  
 そを追ひかくる愚

ヒーロー隊士 札 幌 古屋 統

ミチエルを訪う旅ならずアトランタ空路乗り  
 継げ嫁が孫産む  
 一年半前の記憶は消えし児がパパの蔭から爺  
 婆覗く  
 ガン マシン 仮面の闘士満載の土産の絵本  
 孫に手渡す  
 片言の乱闘劇のアメリカ語テレビのアクション  
 ン日がな真似つつ  
 弟が生まれて兄に暫らくの赤ん坊返りの駄々  
 もちらつく